広報 恵福園

けい ふく えん

VOL. 142
令和2年
3月11日

表題作成 恩田重信

お正月、皆さんで福笑いをして楽しいひとときを過ごしました

社会福祉法人
つなん福祉会

- 特別養護老人ホーム 恵福園…… TEL.025-765-3700
- 津南町高齢者生活福祉センター TEL.025-765-4876
  (ディサービス)
- 津南町在宅介護支援センター… TEL.025-765-4858
  (居宅介護支援／ホームヘルパー)
- ケアホーム 恵福園なかつ …… TEL.025-765-5800
  (地域密着型介護老人福祉施設)(小規模多機能型居宅介護)(認知症対応型通所介護)
- 就労継続支援B型 すみれ工房…… TEL.025-765-4703
- 相談支援センター すみれ …… TEL.025-761-7280
- 指定共同生活援助 すみれホーム…… TEL.025-765-5366
- 地域密着型介護老人福祉施設 小規模多機能型居宅介護事業所 恵福園ほくぶ TEL.025-765-5361

いにしえ

「老妻と共に」

桑原　壽恵男

Vol. 37

今更いうまでもなく、九十代前半ともなると、足許も覚束なくなり、動作も鈍く小さくなって自身歯がゆい思いに明け暮れ、気力も減退の一途を辿るのは已むを得ないことと自らに言いきかせている有様である。

若い頃は、家のことも、子どもの養育のことも一切、妻に任せて省りみなかった罪ほろぼしの一つとして職を退いた後、除雪にあまり気をとられなくなる三月や四月上旬をねらって二人だけで旅を計画した。ＪＲのフルムーンが楽で割安だと考え、大時刻表を首っぴきで自分で行程、宿泊の手配を立てて、十日町の駅で計画を持参、駅員さんに見せると「これをお客さんが立てたのですか。」と驚かれたものの、細長い基本券と必要なグリーン車の座席券を用意してくださった。初回終った後、老妻の「誰に気を遣う要もなく、自由気ままで楽しかった。」という感想に意を強くして、毎年のように出かけた。南は九州鹿児島から、北は北海道、小樽札幌まで四国、山陽、山陰等々国内旅行を満喫させてもらった。今はもう廃止されてしまって乗るすべもない寝台車（フルムーンではA寝台は無理でB寝台だったが）眺めのよい食堂車も利用できた。

関西方面から新横浜に向っていたグリーン車に乗った処が車内ががら空きで、吾々二人だけになって優越感のような気分で名古屋駅に着いたら、何となくホームが物々しい。老妻が突然「あら、岸さんじゃない。」と言うので目をやると、駅長の案内で数人の警官に囲まれて、元総理がグリーン車に向かっている。乗降口には警官が立ち、岸さんが年配の男の秘書と乗り込んで通路を挟んだ少し離れた前の席に着かれた。外国の政治家からの手紙等の話をしていたようであった。岸さんは静岡で降りて、秘書さん独りになったら「東京は雪だそうですよ。」と話かけてきた。私も「岸さんはどちらにお出かけになられたのですか。」と尋ねると「ああ、お伊勢詣りに行かれたのです。今年は正月にお詣りできなかったので…。」という返事で、車の迎えが静岡にきているので湯河原の別荘まで車で向かったのだと言う。秘書氏は東京までだとのことだった。京都から明らかに暴力団の頭夫妻が三、四席離れた処に席をとった。周囲に黒っぽい服装の者が五、六人囲むようにしていたが「検札が来ます。」と伝えたら夫妻だけを残してどこかに姿を消してしまった。上越新幹線では先代の円楽師匠を見かけた。離れた処から興味があったので視線を向けていたら、大層不機嫌な顔をした。後で考えたら面識もない者がじろじろ見るのは堪ったものではないだろうと気づいたが、それも後の祭りである。

まだいろいろ巡り遇えないような経験も当方にはあるが、老妻は全くあの頃の話をしても反応がない。淋しいが致し方ない。少しでも元気づけられればと接している次第である。

姫路城をバックに

恵福園行事

松焼き

無病息災を祈って
今年も松焼きを
行いました!!

野沢温泉ツアー

ごちそうがいっぱい!!

いい湯だなぁ～

クリスマス会

おいしいね！

火焔太鼓の演奏と
デザートバイキング
を楽しみました

お正月

おせち
頂きました

今年も宜しくお願いします！

デイサービスセンター

すみれ会様

すみれ会の方々から素敵な歌や踊り三味線を披露して頂き楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

ボランティア

つなんコカリナサークル様

つなんコカリナサークルの皆様より昔懐かしい歌に合わせてコカリナ演奏をして下さったり、十日町小唄を踊って下さったり、その日誕生日の方がいたのでハッピーバースディを演奏して下さり皆さんでお祝いしました。

小正月

小正月に獅子舞いが登場し、皆様の頭を噛む真似をし、今年一年無病息災で元気に過ごせますようにとお願いをしました。

すみれ便り

12/30 忘年会（しなの荘）

1年お疲れ様でした

田中のしなの荘さんで楽しい忘年会を行いました。おいしい料理と温泉、カラオケで盛り上がりました。

乾杯

おいしい料理

たのしい会話

カラオケを楽しんで

新年の抱負

令和２年の目標です

2/3 節分（豆まき）

年男がまきました

鬼も豆をひろいました

いっぱいひろいました

みんなで一服

1/20 新年会（かっぱ寿司・イオン・ミオンなかさと）

みんなで楽しく

おいしくいただきます

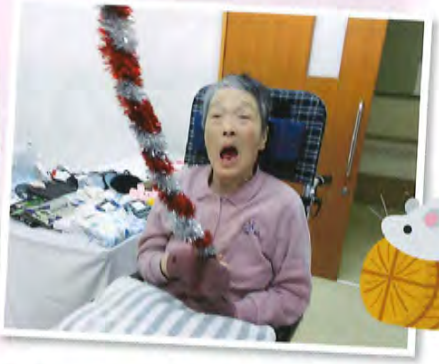
新年明けまして おめでとうございます

ケアホーム 恵福園 なかつ

施設長の挨拶周り

おとそを いただきました！

なかつ神社へ参拝



1F・2Fの日常の様子

たこ焼き作り

美味し～い♥

ボランティアの方々に手伝って
頂いてたこ焼きを焼きました
おいしく焼けたかな？

タオル綱引き

福笑い

上手に
できるかな

鏡開き

地域密着型介護老人福祉施設
小規模多機能型居宅介護事業所

恵福園 ほくぶ

メリークリスマス！

クリスマスケーキやホットケーキを作って
美味しくいただきました♪

サンタさん!?

鬼は外ー！福は内ー！

鬼退治の後は…
仲良く記念撮影♪

どんど焼き

をしました♪

墨塗りをして
無病息災!!

甘酒を
いただきました♪

ボランティア日誌

自令和1年11月1日
至令和2年1月31日

食生活改善推進委員友志　味噌汁作り
福崎れい子　作業手伝い
大平真史　作業手伝い
傾聴ボランテイア　傾聴活動
秋成　老人会
桑原藤枝・桑原フサエ・藤ノ木トヨ
岡村信男・桑原秀子・桑原真知子
岡村智枝子　たこ焼き作り
反里口寿会
藤ノ木志津・渡辺トシ・桑原壽恵男
根岸とみえ　お好み焼き作り
高橋昭子・桑原和子（船山）
スイートポテトもち作り
すみれ会　踊り
つなんコカリナサークル　コカリナ演奏
恵福園友の会　タオルたたみ
明るい社会作り　タオルたたみ
正面友の会　タオルたたみ
秋成ボランテイア　タオルたたみ
中深見ボランテイア　タオルたたみ
太田新田友の会　タオルたたみ
辰ノ口ボランテイア　タオルたたみ
見玉ボランテイア　タオルたたみ
十二ノ木じょんのびの会　タオルたたみ
小池グループ　タオルたたみ
笑いヨガグループ　笑いヨガ

物品

自令和1年11月1日
至令和2年1月31日

つなんクリーンセンター　花
日本生命労働組合　長岡支部
ポータブルトイレ2台
涌井謙吉（羽倉）　じゃが芋
藤ノ木秀作（所平）
ねぎ・大根・白菜・白菜漬
宮澤不二男（卯之木）　じゃが芋
魚沼地区郵便局町会　おせち
匿名　じゃが芋
匿名　柿
富沢秀文（船山新田）　米
匿名　かりん
ニュー・グリーンピア津南　白菜
匿名　りんご
匿名　タオル
匿名　紙オムツ・パッド
島田有美子（栄村）　トマトジュース
匿名　タオル
滝沢茂光　りんご
玉垣製麺所　そば3ケース
柳澤ハナ　玩具
滝沢正治　おりがみ
中沢庚一（中深見）　柿
匿名　南瓜
大口昌幸　里芋・野菜
岡村義男　靴下
涌井圓治ご家族　入浴剤
福原照男　りんご
桑原武信（城原）　ねぎ
匿名　ねぎ
匿名　大根・白菜
匿名　みかん
宮沢寛一（卯之木）　じゃが芋・大根

寄付金

自令和1年11月1日
至令和2年1月31日

マルゼンメデイ・ケア㈱
中澤　敏治・晴子
中沢　マス
岡村　義男
匿名
匿名
鈴木　孝基

ボランティアに参加して頂いた皆様、金品の御寄付を頂いた皆様の善意に、心から御礼申し上げます。（順不同敬称略）

恵福園の食事紹介

1月15日に恵福園では松焼きを行いました。
毎年この日には、お餅の代わりに皆さんが食べれるようムース餅という物を出しています。
お米にもち米を少し入れてお粥にしてから、ミキサーにかけて滑らかにしてお餅風にします。その上には、あんこかみたらしあんをかけて召し上がってもらっています。
みたらしあんよりあんこを選ぶ方が多いです。皆さんお餅は大好きです。

恵福園 News

12月24日のクリスマスイブに素敵なプレゼントが届きました

津南小学校5年生の皆様から、丹精込めて育ててこられた〝魚沼産コシヒカリ〟を恵福園、恵福園ほくぶ、恵福園なかつに寄贈していただきました。
当日は、5年生13名の生徒さんが来園され、春から取り組んできた米作りの発表や歌を披露してくれるなど、入所者と楽しい一時を過ごすことができました。
お米は、入所者の皆様から美味しく召し上がっていただきました。
5年生の皆様本当にありがとうございました。

編集後記

今年も三ケ月が過ぎようとしています。令和最初の冬は、びっくりするほど雪が降らない年となりました。暖冬でいいこともありますが、降るべき時に雪が降らないと、後々困ることが起きそうで心配です。
いつもより、早い春の訪れを待ちながら日々の業務を頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。（池田　勉）